

1 基本構想策定の背景と目的

南海羽衣駅及びJR東羽衣駅の駅周辺エリア（以下、「羽衣駅周辺エリア」「本エリア」という。）は、アクセスの利便性に優れる一方で、長年、平面鉄道により東西のまちが分断されていた。そのため、駅周辺の回遊性や一体性、また駅の西に位置する浜寺公園、東に位置する羽衣国際大学等、**地域資源のつながりや連携などが課題**となっている。

そのような課題を解消すべく、平成8年に都市計画決定された「南海本線・高師浜線（高石市）連続立体交差事業」が進められ、令和3年5月に上り線の高架化工事が完了し、現在駅舎等の工事が進捗している。このような機会を活かし、令和3年3月に基本構想が策定された高石駅周辺エリアと同様に、本エリアにおいて、JR東羽衣駅北用地等の地域資源を活用し、民間のノウハウや資金などを用いた公民連携の手法により、ニューノーマルに対応した新たな都市政策をめざすべく、**持続可能な、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を創出するための「魅力的なまちづくり」**について、**まちづくりの将来像を位置づける**ものである。

2 エリア特性を踏まえたまちづくりの取組み課題

- ① **浜寺公園**を活用するため、公園利用者に駅周辺エリアを回遊・滞留してもらうための場や仕掛け、浜寺公園が至近にあることがわかる駅周辺の環境づくりが必要
- ② 駅周辺は歴史風情のある住宅地であり、潇洒な屋敷や車の通り抜けの少ない道路基盤を有し、歩ける範囲での**心地よい暮らしイメージ**を発信できる場や機会の創出が必要
- ③ 高架下空間や駅前広場、都市計画道路事業による拡幅空間、空家など、今後創出される**公共的な空間や個々の取組み**を活かし、ネットワークさせていくことが必要
- ④ **地域に根ざしたプレイヤー**が存在する一方で、学生や新住民の居場所がないのが課題。外からの新しい文化を受け入れる風土なども活かし、すでに地域にいる人・事業者ら、新たな活動を始めたい人たちの活躍の場をつくり、活力を活かすことが必要

3 めざす将来像とまちづくりの視点

■めざす将来像のコンセプト

居心地と賑わいとなりわいが 健幸を育む
ひととまちが交わる魅力づくり拠点

■まちづくりの視点

① 公共的な空間と遊休資源の活用

広場・高架下等の公共的な空間や空家・空き地などを資源として、柔軟で自由度の高い土地利用を仕掛け、羽衣ならではの魅力ある場や機会づくりに活用する

② 浜寺公園の魅力のとりこみ

広域的にも集客力や環境・機能の質も高い**浜寺公園**が近接する魅力を、まちなかに取り込んでいく交通・環境・景観をつくりだし、本エリアの魅力創造と内外への発信を図る

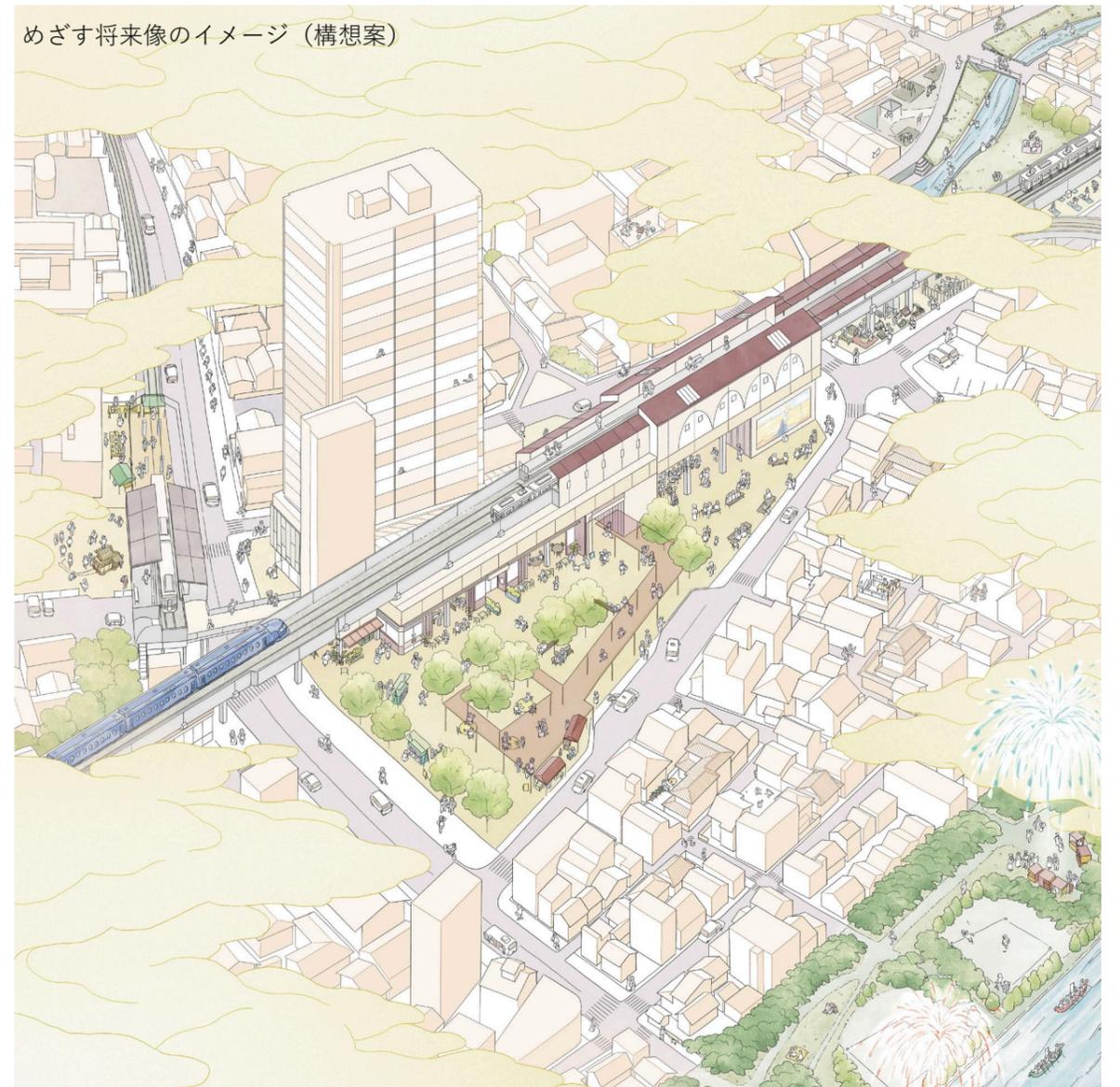
③ 地域に根ざしたひと中心の魅力創造

地元住民や羽衣学園の学生や先生、地域で商いや事業をしている人など、**地域に存在する多彩で豊富な主体**をまちづくりの担い手として中心に据え、持続的に地域の魅力が創造できるような体制をととのえる

④ 高石駅と羽衣駅の連携と共生

羽衣駅とは性格の異なる高石駅周辺エリアが高架下・側道によりつながることを最大の好機と捉え、それぞれの機能・特性を活かした人の往来や活動の連携、**ともに価値を高め合う**取組みを進める

めざす将来像のイメージ（構想案）



4 まちづくりの方向性

方向性 1 歩きたくなるまちをつくる walkable

- ▶安全で歩きやすいみちづくり
車通りを抑制し、人の目が行き届く、安心・安全な街路環境をつくる
- ▶回遊性を生む小さな拠点づくり
学生や住民・事業者の活動の場や移動の起終点となるような拠点を分散して設ける
- ▶ひととまちが会う仕組みと仕掛けづくり
まちを歩きたくなるような楽しい屋外空間や人との出会いや交流が生まれるベンチ、イベント空間等を設け、マネジメントする

方向性 2 健幸になるまちをつくる wellness

- ▶居心地がよく、長居したくなる場づくり
乗換えや通過点としての利用の多い駅利用者が、まちで過ごせる時間や空間を提供する
- ▶身体を動かしたくなる仕掛けづくり
外出や運動を自然としたくなるような公園のような場や公園への動線をつくりだす
- ▶ひとが輝く交流と活躍の場と機会づくり
地域内外の人にとって、気軽に交流や生きがいを生み出すことのできる場や機会をつくる

まちづくりを実現する“十字”プロジェクト



5 将来像の実現に向けて

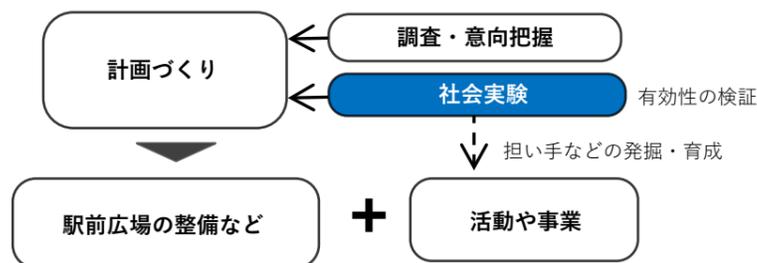
■民・学・公によるまちづくりの推進

本エリア内外、地域に根ざした事業者や地域団体、市民が**同じ将来像とまちづくりの方向性を共有し、それぞれの力を発揮し、さらに連携・協働することが不可欠**である。本市は、駅前広場の再整備や高架下空間の利活用、市有地の有効活用、駐輪場の再配置等のプロジェクトを通じて、**市民や事業者の活躍の機会と場をつくること**で、まちづくりの推進を図る。



■試行と検証を重ねる段階的な事業実施

実際の事業につながる**社会実験を重ね、その有効性を検証しながら、まちづくりを進めていくものとする**。また短期的で機動的なプロジェクトを継続的に実施することで、ニューノーマル等の時代の変化に対応した、**柔軟で臨機応変なまちづくりを行うとともに、社会実験の積み重ねの中で、本エリアのまちの担い手の育成や発掘も行う**。



■まちづくりのロードマップ

本構想をスタートとして、**今後駅周辺整備に向けた計画・設計、個別事業や施策を展開する**。まずは**目の前で需要が高い周辺住民らの滞留や交流・活躍の場をつくり、その風景を通じて、通勤・通学者の立ち寄りや参加を促し、やがては乗換客や浜寺公園への来訪者を誘い込み、広域からの集客へとつなげていくことをめざすものとする**。

